

SHIRAKOBATO

しらこぼと



1993.5

SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

WILD BIRD



NO. 109

日本野鳥の会 埼玉県支部

巣立ち雛はそのままだに

福井 恒人（浦和市）

今、野鳥たちは、子育てのために一生懸命頑張っています。そして、「雛を保護しました」という連絡が支部事務局などに殺到する季節です。ところが、自分では「保護」したと思っけていても、実はそれが「誘拐」であることが多いのです。

■ほとんどが立派な巣立ち雛

道端に野鳥の雛がいます。ついうれしくなったけど、きゅうに心配にもなって、こんなまだ羽もはえそろっていないのだから、巣から落ちたにちがいない、何とか助けてあげなければと、逃げる雛をひろいあげ、まわりを見回しても野鳥の巣らしいものは見つからない、どうしよう、このままでは死んでしまう、そうだ、「野鳥の会」というものを聞いたことがある、早速電話番号を調べて……。

その気持ちは本当に良く分かります。でもそれは立派な巣立ち雛で、近くに親がいて、安全な方に連れていく途中だった場合がほとんどなのです。だから、少し言葉がきつくな

りますが、これは親の目の前で「誘拐」ということになってしまうのです。しかも、自分では大変良いことをしていると思いがらのことですから、野鳥にとっては鳥迷惑、人にとっても残念なことです。

「これが巣立ち雛!？」 はい、その通り。一見赤裸でまだ羽毛もはえそろっていない状態でも、巣立ちします。

道端で野鳥の雛を見つけたら、そのままにしておくことが、まずはベストです。

■ネコや自動車が心配で

そのままではどうしても危ない状況でしたら、少し高いところの枝にでもとまらせてあげてください。

ちゃんと枝にとまれて、鳴き声をあげることができれば、それはもう大丈夫のサイン。雛は鳴き声で自分の位置を親鳥に知らせています。

もし巣が分かって、そのなかにほかの雛がまだいたら、戻してあげるのも良いでしょう。一番元気の良い雛が、少し早く巣を飛び出してしまうこともありますから。

鳥は嗅覚が鈍感なので、人間が触れたために子育てをやめてしまうようなことはないということです。

■鳥は人間がこわいのです

心配だからしばらく見ていたけど、親が寄ってこない。きっと親に何か事故があったにちがいない。やはり、保護しなければ……。

いやいや、近くに人がいる間は、親は隠れています。バードウォッチャーなら誰でも知っていることですが、人が鳥を見つけるずつ

平成4年度傷病野生鳥獣保護診療機関

草加市	浜坂動物病院	0489-24-7446
春日部市	森田一犬猫病院	048-735-0532
川口市	池谷犬猫鳥の病院	048-266-6611
浦和市	バードクリニック	048-822-1759
大宮市	エンゼル動物病院	048-663-2300
上尾市	川口バットクリニック	048-781-2257
桶川市	ナカムラペット病院	048-771-7970
熊谷市	坂本家畜病院	0485-21-2771
	籠原獣医科医院	0485-32-1663
	川田動物病院	0485-25-2284
	あらい犬猫鳥の病院	0485-25-5282
深谷市	田坂どうぶつ病院	0485-71-0508
	アニマルクリニック 小林	0485-73-1906
志木市	嵯峨獣医科クリニック	0484-71-3567
所沢市	所沢愛犬病院	0429-22-2929
東松山市	大山獣医科医院	0493-22-3705
秩父市	浅見獣医科医院	0494-22-1176

と前から、鳥たちは人のことを見えています。あなたが見ているから、親が寄って来ないのかもしれませんが。

親鳥が来ないと心配しているすぐそばで、早くこの人がいなくならないかなど、親鳥はやきもきしているかもしれませんよ。

■保護をしたら診療機関に

目に見えるけがをしている。ぐったりとわずくまっけていて動かない。鳴くこともできない。枝にとまる力もない。こんな場合は、本当に保護してあげてください。

埼玉県では、傷病野生鳥獣保護診療機関という制度があり、県内17の獣医さんがそれに当たっています。先ずこの獣医さんに連絡してください。治療が必要な場合、ここに届ければ無料で治療してくれます。

獣医さんたちはほとんどボランティアで野鳥たちの治療に当たっています。手当の方法などについても、専門的なアドバイスをしてくれるかたもいます。

■救急手当の方法

保護診療機関にすぐに連絡がつかないときやなかなか届けることができない場合は、それまでの救急手当が必要です。体温の低下を防ぐことと、餌を与えることが重要です。

餌を食べれば、1時間に1回くらいの割合で食べさせます。種類によって餌は違いますが、九官鳥の餌を水に戻したものが広くいろいろな野鳥に使えるということです。千葉県支部の支部報『ほおじろ』に、行徳野鳥観察舎の蓮尾さんから聞いた話として載っていました。

親のくちばしに似た形の尖ったもので餌をつまみ、雛のくちばしをちょんちょんと突いてみてください。それで食べればOKですが、食べないときは強制給餌になります。割箸の先をへら状に削り、くちばしの横から差し込んで静かに回転させて開かせ、指でくちばしの先端を押えて餌を入れます。食道のすぐ下に気管の入り口があるので、あまり無理をして窒息させないように。

ポポンSなどのビタミン剤を水で薄めて飲

鳥獣保護行政担当部署

埼玉県環境部自然保護課野生生物係	048-824-2111内線2424
中央環境管理事務所	048-822-5199
西部環境管理事務所	0492-22-8681
秩父環境管理事務所	0494-23-2111
北部環境管理事務所	0485-23-2801
東部環境管理事務所	0480-34-4011

ませたり、体を暖めてやれば、体力を回復して、餌を食べるようになることもあります。小さなビンにお湯を入れて湯たんぽを作ってやります。直接触れないように、ガーゼなどを巻いてやりましょう。

保護診療機関と連絡がついたら、その指示やアドバイスを従ってください。

■元気になったら

自分で十分に飛び回れるようになったら、天気の良い日の午前中に放鳥します。早すぎる放鳥も危険ですが、決してペットや手のりにしてしまわないように。「かわいいから手元におきたい」ではなく、「かわいいから自然に帰す」。この心を忘れずに。

■長期リハビリが必要だったら

里親制度というものがあります。治療しても自然に帰すことができない時や、長期リハビリが必要でもいろいろな事情でそれができないような時、里親たちが引き受けてくれます。里親は保護診療機関が紹介するたてまえになっているのですが、そちらで紹介できないときは、県の担当部局や各地区の環境管理事務所にご相談ください。

環境管理事務所などは、密猟対策や不法飼育などについても、幅広く相談ののつてくれます。

親切のつもりで自宅に持ち帰っても、うまく自然に帰すことは、非常に難しいことなのです。「誘拐」をしないことはもちろんですが、「保護」するときも、それなりの心構えと慎重さが必要です。

(埼玉県鳥獣保護員)

埼玉県内鳥類リストの最近の情報

野鳥記録委員会

4月10日(土)委員会を開催し、『しらこぼと』1992年7月号(第98号)で発表したリスト(1978年4月~1992年4月)以降の情報を整理した。

●シマゴマ

1991年6月16日、蕨市南町の四方(よも)さん宅で写真撮影されていたと、日本野鳥の会の研究報告誌『Strix』Vol.11(1992年発行)で発表された。

当委員会では本部研究センターから資料を取り寄せて検討した結果、本県初の確認記録として、県内鳥類リストに追加することとした。

●ウタツグミの削除

1991年10月16日、川口市道合でウタツグミが保護(その後死亡)されたと、埼玉県野鳥の会(現・埼玉県生態系保護協会)から発表されたが、この個体を(財)山階鳥類研究所でDNA分析したところ、実はクロツグミであることが判明した。

クロツグミのメスや若鳥には胸と腹の脇に赤褐色の羽毛があるが、この個体にはそれがなく、胸や腹と同じ白色であること、胸から腹の羽毛にウタツグミ様の黒褐色の斑紋が見られることからウタツグミとしたものだが、ミトコンドリア内にあるチトクロムbという遺伝子の一部の塩基配列が、620中619まで一致したことなどからクロツグミと判明したと、1993年3月明らかになったもの。

遺伝子レベルで種名が明らかにされた珍しい例であり、当委員会は、ウタツグミをリストから削除することとした。

●ツリスガラ

本誌1993年3月号(106号)に記載した1993年1月30日北葛飾郡庄和町での県内初記録に続き、4月3日、戸田市内の荒川河川敷戸田橋近くのアシ原で、戸田市立喜沢中学校の生徒たちと指導教師の萩谷洋会員が5羽観察し、写真も撮影した(詳細と写真未着)。

●キリアイ

1992年9月6日川越市内で写真撮影され、新聞各紙で報道された。新聞紙上の写真でもキリアイと認められる。

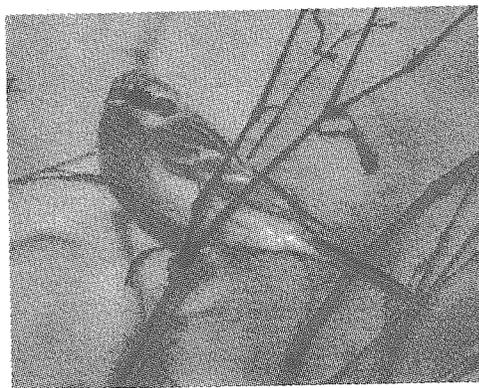
従来観察記録はいくつかあるが、写真撮影されたことがなく、これが県内初の確認記録となり、リストに追加することとした。

●シベリアジュリン

1993年3月6日(土)午後、浦和市堤外の荒川調節池横の草原で♂♀各1羽を発見(有山智樹)。3月14日(日)午後5時ごろ、同所で♂1羽をビデオ撮影=下=(海老原美夫)。3月23日(火)終認(有山)。

全体色調、嘴峰が直線で上嘴が黒っぽくて下嘴が淡色であること、頭央線と圏眼線がないこと、小雨覆が栗色でないこと、顕著な2本の翼帯があること、趾が黒くないことなどから、シベリアジュリンである可能性が高いが、より慎重を期するため、本部記録検討会の結果を待って、確認記録とするかどうかを最終的に決めることとした。

有山氏の観察によれば、従来アシ原にいたと言われていた本種が、アシ原ではない草原で地上採餌していたという。



シベリアジュリン(ビデオからプリント)

狭山湖は今日も風だった

渡 邊 光 行 (浦和市)

去年は浦和市付近の探鳥会にだいふ参加させていただきました。今年は寅さんの映画を観たせいか、巣立ちをして埼玉各地を転々としています。2月14日は狭山湖探鳥会に参加しました。寒冷強風が評判の探鳥会で、たしかバードウォッチングを始める前に桜を見に来た時も強風でした。リーダーの説明によれば「この環境にこの鳥あり」。なるほど考え方がしっかりしている。

水鳥を観る前にビンズイに出会う。道向かいのガードレールと植木の間を、オリーブ色の体がこまやかに見え隠れする。勇気を出してリーダーに見沼たんぼで観たタヒバリとの違いを説明してもらおう。的を得た分かりやすい言葉が返ってくる。こういうことは私は意外に覚えていて、次の機会の時はゆっくりと同じ言葉を繰り返していたりする。

狭山湖では、初めて観たカムリカイツブリが一番深く印象に残った。ホオジロガモは参加者全員が高気圧と化して観察していて、寒冷強風を吹き飛ばしているようだった。キンクロハジロも目の前の波に緩やかに乗っていた。やはり各地の探鳥会で種々の野鳥に出会う楽しさはかくべつで、一瞬少年時代に戻ってしまう。残念だったのはミコアイサに会えなかった事。情報を整理してもう一度チャレンジしてみようと思う。

予定どおりに一通り歩き終り、鳥合わせの場所にはカントウタンポポが一輪咲いていた。このタンポポは受粉を必要とするので、親株にしても少し早い感じがする。花も百花百様のとの事だが、私にとっては初鳴きならぬ初咲き記録でした。リーダーの人達も百人百様で楽しい。浦和付近のリーダーの皆さんにはしばらく会っていないのですが、さて、次はどこ探鳥会へ出現しようか。



(バンも2羽、争うところを見る 陶山和良)

—どアップビデオの総括—

町田好一郎 (本庄市)

支部報「しらこぼと」、本部誌「野鳥」に掲載された元祖どアップビデオについて、支部会員はもとより全国から問い合わせがかなりありました。ビデオウイルス感染希望の方には手紙で、重症患者志望の方には直接お会いして強力なウイルス菌を伝授してきました。

最近、「ところで、おまえさん、その後どうなんだ？」という声が聞かれるようになりました。そこで昨年から今年初めにかけての活動状況を総括の上、報告することにします。全く手前味噌になりますが今日のところは我慢してお読み戴きたい。まず、テレビですがNHK前橋放送局より13回、浦和放送局より2回昨年は放映されています。今年に入って1月前橋より「酉歳の野鳥たち」2月前橋より「マガン越冬記録」3月前橋より「カワアイサのペアリング」「オナガガモのシンクロナイズドスウィミング」それに「カムリカイツブリの夏羽ご夫婦」浦和より「レッドデータブックの野鳥達、マガン、トモエガモ、オオタカ」とON AIRされました。

新聞については、読売、埼玉、上毛各紙にコハクチョウ、マガン、ツバメ、チドリ等が各々掲載されています。

如何なものでござんしょう？どアップビデオの効果は・・・。更に極め付きは今年の3月、NHKより「年間優秀賞」をいただきました。ビデオ歴わずか1年半の者が並居るベテラン先輩を差し置いてです。一連の野鳥の映像にネイチャービデオとしての評価をいただいたようです。

ビデオウイルス保菌者ならびに感染者、重症者の皆さ～ん、気を大きく持ってジャンジャン撮りまくり、マスコミにばらまきましょ～う。

はなはだ、オーバーな手前味噌になってしまいましたが、これでどアップビデオの総括と致します。

野鳥情報

ヨシガモ ◇2月27日、戸田市道満調節池で
♂♀各1羽（駒崎政雄）。

オカヨシガモ ◇2月18日、朝霞市の黒目川、
岡橋下流で♂6羽♀3羽（二村英克）。

アメリカヒドリ ◇2月13日、戸田市道満調
節池で♂1羽（駒崎政雄）。◇2月17日、
富士見市の柳瀬川♂1羽（中村治）。

ミコアイサ ◇2月27日、狭山市の入間川、
田島屋堰で♀1羽（岩渕茂雄）。

オオタカ ◇2月20日、本庄市の阪東大橋下
流で1羽。ムクドリが大騒ぎ（横山初
夫）。

ハイタカ ◇2月20日、戸田市道満調節池横
の林で若鳥1羽。ドバトを襲ったが失敗
（高橋達也）。

ノスリ ◇2月27日、戸田市道満調節池上空
で1羽（駒崎政雄）。◇3月3日、北川辺
町の渡良瀬遊水池で1羽。電柱にとまり、
小鳥の肉を食べていた（山口博）。

コチョウゲンボウ ◇3月3日、北川辺町の
渡良瀬遊水池で♂1羽（山口博）。◇3月
6日、本庄市の阪東大橋下流で♀1羽。
（山口博）。

クイナ ◇2月6日、戸田市道満調節池で1
羽。オオタカ（若鳥）の食事を見ていて、
何気なく視線をずらしたところ上流側の枯
れアシの中から突然飛び出してきた（駒崎
政雄）。◇2月10日、浦和市秋ヶ瀬のピク
ニックの森、テニスコート南側の池で1羽

ゆっくりした動作でアシ原の中に入ってい
った（二村英克）。◇2月28日午後4時、
北本市石戸宿の自然観察公園で1羽。トコ
トコと道を横断する見なれない鳥発見。ア
シ原に入りエサを探しています。クチバシ
は赤、腹が白と黒・・・。フィールドガイ
ドよりはるかに美しい。二人してクイナと
確認しました（永野安彦・京子）。◇3月
5日、朝霞市の黒目川、岡橋下流右岸で1
羽（二村英克）。

コミミズク ◇3月3日、北川辺町の渡良瀬
遊水池で1羽（山口博）。

アリスイ ◇2月25日、戸田市道満の釣り堀
横の林で1羽（横山初夫）。

オオアカゲラ ◇3月9日、北本市石戸宿で
1羽。塹の穴に入る（佐藤進）。

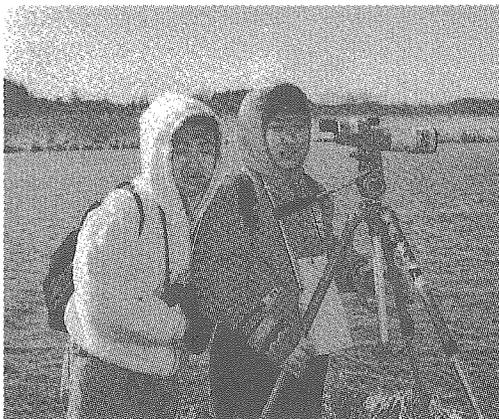
キレンジャク ◇2月27日、熊谷市大麻生の
野鳥の森で2羽。最初は逆光でよく見えな
かったが、鳥の方がベストポジションに移
動してくれた（菱沼一充）。◇3月4日、
北本市石戸宿の自然観察公園で14羽（吉原
俊雄、岡安征也）。

ヒレンジャク ◇2月13日、狭山市の富士見
公民館脇の雑木林で8羽。「ヒューッ、ヒ
ューッ」と鳴き交わしていた（久保田忠資）。

ルリビタキ ◇2月15日、朝霞市の城山公園
で♀1羽（二村英克）。◇2月26日、朝霞
市の東円寺で♂1羽（二村英克）。◇2月
27日、熊谷市大麻生の野鳥の森で♂1羽
（菱沼一充）。

アカハラ ◇2月1日、浦和市秋ヶ瀬のゴルフ
場裏で1羽（横山初夫）。◇2月7日、
戸田市道満調節池で1羽（横山初夫）。◇
2月10日、浦和市秋ヶ瀬のピクニックの森
で♀1羽（二村英克）。◇2月15日、志木
市の敷島神社で♀1羽。枯れ葉をひっくり
返していた（二村英克）。

シロハラ ◇2月7日、戸田市の戸田公園で
1羽。当地初記録（高橋達也）。◇2月15
日、志木市の敷島神社で♀1羽。大木の根
っこの土をひっくり返していた（二村英克）。
◇2月26日、朝霞市の城山公園で♂1羽。
口笛を吹いたら、訳の分からない鳴き声
をしてこちらに飛んできた（二村英克）。◇



3月3日、秩父市の羊山公園で1羽（山岸昭治）。

ウグイス（初鳴き） ◇2月27日、浦和市の白幡沼で。たどたどしく（海老原美夫）。

エナガ ◇3月3日、秩父市の羊山公園で多数（山岸昭治）。

ヒガラ ◇2月9日、浦和市秋ヶ瀬のゴルフ場裏で3羽（横山初夫）。

ヤマガラ ◇2月9日、浦和市秋ヶ瀬のピクニックの森で1羽（二村英克）。

ゴジュウカラ ◇3月6日、三峰山でさえずりを聞く（山岸昭治）。

キバシリ ◇3月6日、三峰山で1羽。今まで聞いたことのないさえずりを聞きました。キバシリでした。ラッキー！（山岸昭治）

コジュリン ◇2月27日、戸田市道満で7羽以上（駒崎政雄）。

ホオアカ ◇2月27日、戸田市道満調節池で1羽（二村英克）。

カシラダカ ◇2月27日、戸田市道満の釣り堀横の林でヒバリに似た声で鳴き交わしていた（駒崎政雄）。

ミヤマホオジロ ◇3月3日、秩父市の羊山

公園で♂4羽♀2羽（山岸昭治）。◇3月3日、浦和市秋ヶ瀬公園野鳥園で♂♀各1羽（渡辺喜八郎）。

アトリ ◇3月3日、浦和市秋ヶ瀬公園野鳥園で6羽（渡辺喜八郎）。

オオマシコ ◇1月29日、寄居町の鐘撞堂山登り口Y字路付近で♀1羽。ベニマシコと行動を共にしていた（佐藤進）。

ベニマシコ ◇1月29日、寄居町の鐘撞堂山登り口Y字路付近で♂2羽（佐藤進）。◇3月3日、秩父市の羊山公園で♀1羽（山岸昭治）。

ウソ ◇2月21日、寄居町中間平緑地公園で♂16羽♀7羽。その内アカウソ1羽（堀口芳嗣）。◇3月2日、秩父市の羊山公園で7羽（山岸昭治）。◇3月6日、三峰山で数羽（山岸昭治）。

イカル ◇3月3日、鴻巣市人形の自宅庭で「いいコイル～」と鳴き声。隣家のテレビアンテナの上にあった（内藤洋子）。

カケス ◇3月3日、浦和市秋ヶ瀬公園野鳥園で1羽（二村英克）。

☆ 研究部からのお知らせ ☆

研究部では、皆様からお寄せいただいた野鳥情報のデータベース化を始めました。データベース化とは、野鳥情報を手軽に検索できるようにすることです。紙面の都合で「しらこぼと」に掲載できなかった野鳥情報もデータベースには全て入力され活用されます。

そこで、野鳥情報をお寄せ下さる場合に以下の項目を明記して下さい。①年月日、②鳥種、③数、④市町村、⑤観察場所、⑥観察者氏名。③の数の表現は4羽位とか20羽前後のようにできるだけ数字で表現して下さい。

また、⑤観察場所はできれば地形図で場所がある程度特定できるように表現して下さい。

◎困ったちゃんの例「富士見市の柳瀬川」「熊谷市の自宅付近」。◎良い子ちゃんの例「富士見市 柳瀬川東上線鉄橋上流」、「熊谷市万吉の自宅付近」。こうすることによって4月の特別号の分布図のようなデータをまとめることができるようになります。

つつい出しそびれてしまった昔の野鳥情報も大歓迎です。昔のデータは、年号（西暦）を忘れずにネ！

表紙の写真

ネチャーフォトコンテスト1992 入選作

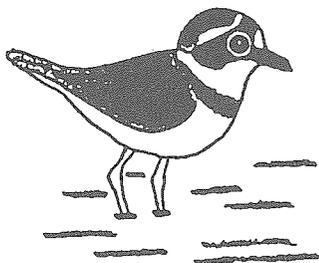
ヒバリ（ヒバリ科）

一面の黄色い菜の花畑。青い空。もうそこはヒバリの独唱会の会場。あちこちで歌声が聞こえる。はるか上空を羽ばたきながら歌うもの。停止飛行で歌うもの。降下しながら歌うもの。…さまざまなスタイルで、彼らは生

活を歌っている。

近くのオニアザミに降り立った1羽は、すばらしい声量で、精一杯胸を張って歌った。その声は風に乗って、荒川の河川敷に広がっていく。
野川一臣（大宮市）

行事あんない



(佐藤方博)

探鳥会への参加は、特別な場合を除いて予約申込みの必要はありません。受付は探鳥会当日。参加費は一般100円。会員及び中学生以下50円。持ち物は、筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、もしあれば双眼鏡など。小雨決行です。解散時刻は、特に記載のない場合、正午から午後1時ごろになります。

◇はじめて探鳥会に参加される方へ◇

集合場所へ着いたら、まず“日本野鳥の会 埼玉県支部”の旗か、青い腕章をつけた担当者を探して、遠慮なく声をおかけ下さい。私達もあなたを探していますので、ご心配なく。

千葉県・谷津干潟探鳥会

期日：5月5日（水・祝）

集合：午前10時 JR京葉線南船橋駅前

交通：JR武蔵野線 武蔵浦和9:03、南越谷9:17発に乗車

担当：杉本、登坂、中村（治）

見どころ：干潟はシギ・チドリの国際空港、ただいま春の渡りで混みあっております。この混雑ぶり、ちょっと見ものですよ。

北川辺町・渡良瀬遊水池探鳥会

期日：5月15日（土）

集合：午前9時10分 東武日光線柳生駅前

交通：JR宇都宮線大宮8:12→栗橋8:41、東武日光線8:52発に乗車

担当：中島（康）、松井、石川、入山、篠原（五）、山岡

見どころ：バードウィークの先陣を切って登場するのは渡良瀬のサシバ。初夏の青空をさっそうと飛ぶ姿をお楽しみに。

栃木県・奥日光探鳥会（要予約）

期日：5月8日（土）～5月9日（日）

定員に達しましたので、締め切りました。ご応募ありがとうございました。参加される方には、詳しい案内書を送付いたします。

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：5月9日（日）

集合：午前9時30分 秩父鉄道大麻生駅前

交通：秩父鉄道熊谷9:20発または寄居9:03発に乗車

担当：菱沼（一）、森本、林（滋）、関口、菱沼（洋）、斉藤、塚本、中島（章）、川島

見どころ：大麻生はもう、すっかり夏気分。水面をすべるように飛ぶコアジサシやツバメ。アシ原でにぎやかにさえずるオオヨシキリ、セッカ。河原は日差しが強いので、暑さや日焼け対策、お忘れなく。

本庄市・阪東大橋探鳥会

期日：5月16日（日）

集合：午前9時 JR高崎線本庄駅北口（集合後、現地までバス利用）

交通：JR高崎線大宮7:41→本庄8:47

担当：町田、林（滋）、小淵、小野沢、川島

見どころ：ツバメチドリに今年も会えたら、〈飛来10周年記念探鳥会〉になります。ツバメチドリ君には、記念品として利根川の美しい環境をプレゼントしたいものですね。

川越市・西川越探鳥会

期日：5月16日（日）

集合：午前9時 JR川越線西川越駅前

交通：JR川越線大宮8:34、川越8:56

担当：佐久間、長谷部、石井、黒田、小野、山本、中村（祐）、高草木、池永

見どころ：あわたたしかったゴールデンウィークが過ぎたら、バードウィークは

のんびりと。深まる緑の中で、カワセ
ミ君と一日を過ごしませんか。

上尾市・丸山公園探鳥会

期日：5月16日（日）

集合：午前7時20分 丸山公園北駐車場

交通：高崎線上尾駅西口1番バス乗り場から
西上尾車庫行き7:03発に乗車、終点下
車

解散：午前9時ごろ

担当：乗田、吉原、内藤、立岩、赤瀬、阿久
沢

見どころ：渡りの季節の早朝ならではの、意
外なお客様。今年はいったい誰かな？
さあ、あなたも〈早起きは三文の得〉
体験しましょう！

浦和市・三室地区定例探鳥会

期日：5月16日（日）

集合：午前8時15分 京浜東北線北浦和駅東
口（集合後、バスで現地へ）または、
午前9時 浦和市立郷土博物館前

後援：浦和市立郷土博物館

担当：楠見、福井、渡辺、手塚、伊藤、笠
原、田口、馬場、岡部、嶋田

見どころ：三室の夏鳥、勢ぞろい。カッコ
ウ、キアシシギ、オオヨシキリ、セッ
カたちが、一気に初夏を運んできました。
た。

長野県・戸隠飯綱高原探鳥会(要予約)

期日：5月23日（土）～5月24日（日）

定員に達しましたので、締め切りました。ご
応募ありがとうございます。参加される方
には、詳しい案内書を送付いたします。

狭山市・入間川定例探鳥会

期日：5月23日（日）

集合：午前9時 西武新宿線狭山市駅西口

交通：西武新宿線本川越8:42発または所沢8:
39発に乗車

担当：長谷部、三田、石井、佐久間、柳原、
小野、山本、中村（祐）

見どころ：雲雀、鶺鴒、翡翠、鶯、鳩。こ

れ、みんな鳥の名前。探鳥会に来ると
読み方がわかり、本人（鳥）にも会え
る予定です。

『しらこぼと』袋づめの会

とき：5月29日（土）午後1時～2時ごろ

会場：支部事務局隣の108号室

野鳥写真クラブ定例会

とき：5月29日（土）午後2時ごろ～5時

会場：『しらこぼと』袋づめの会と同じ

大滝村・三峰山探鳥会

期日：5月30日（日）

集合：午前10時 三峰山ケーブル山頂駅前

交通：西武秩父線池袋7:16発三峰口直通に乗
車／秩父鉄道熊谷7:44、寄居8:13、影
森で三峰口行きに乗り換え9:04→三峰
口9:22 三峰口から大輪行きバスに
乗り、終点下車、ケーブル駅まで徒歩
10分。

担当：林（滋）、田口、菱沼（一）

解散：現地にて午後2時ごろ

見どころ：新緑がさわやかな秩父路。杉木立
の三峰神社に参拝して、会いたい鳥を
お願いしたら、霊験あらたか、さっそ
くキビタキが・・・。

大宮市・大宮市民の森探鳥会

期日：5月30日（日）

集合：午前8時10分 JR宇都宮線土呂駅東口
または午前8時30分 市民の森入口前
（土呂駅東口より東へ徒歩5分）

担当：馬場、林（慎）、桜庭、工藤、墨江、新堂

見どころ：オオヨシキリの声が賑やかな季
節。カッコウにも会えるかもしれませ
ん。のんびりと芝川辺りを散歩しまし
ょう。

茨城県・浮島湿原探鳥会

期日：6月12日（土）

定員に達しましたので、締め切りました。ご
応募ありがとうございます。参加される方
には、詳しい案内書を送付いたします。

行事報告

1月17日(日) 浦和市 三室地区

参加: 62人 天気: 晴

カワウ コサギ アオサギ カルガモ コガモ オナガガモ ホシハジロ チョウゲンボウ オオタカ イカルチドリ タカブシギ イソシギ ユリカモメ セグロカモメ キジバト ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (35種) 今年最初の探鳥会で、新しい参加者が多かった。強い風のために、昔なつかしいコースを歩いたので、ゆっくりした探鳥会であった。大東東橋から秩父の山並がきれいで、風の中をオオタカが久しぶりに飛んだ。(楠見邦博)

1月24日(日) 久喜市 昭和池

参加: 23人 天気: 小雪&みぞれ

カイツブリ カンムリカイツブリ カワウ マガモ カルガモ コガモ トモエガモ ヒドリガモ オナガガモ ハシビロガモ ホシハジロ キンクロハジロ ユリカモメ セグロカモメ キジバト コゲラ ヒヨドリ ハクセキレイ ツグミ シジュウカラ メジロ オオジュリン カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ オナガ ハシブトガラス (28種) 雪の中、精鋭ウォッチャー23人。まさに表彰状のものでした。気温0°Cの中、28種をよくぞ見つけてくれました。トモエガモをとの願いを込めて、横浜からお出でになった安江さん、よかったですね。ほんとに皆さんごろうさまでした。(松井昭吾)

1月24日(日) 川口市 差間

参加: 9人 天気: 曇時々小雨

カワウ コサギ カルガモ コガモ オナガガモ タゲリ キジバト ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ メジロ ホオジロ アオジ オオジュリン カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (24種) 足下から冷え込む小雨降る日曜日の午後の探鳥会は9人で予定どおりスタート。通船堀でキセキレイをじっくり観察して、芝川からコミミズクの見られるポイントへ。遠くでフワフワ飛ぶ鳥を発見!!……双眼鏡でのぞくと残念? タゲリでした。昨年に続いての再会はなりませんでした。来年に期待します。(手塚正義)

1月24日(日) 狭山市 入間川

雨天のため中止。(長谷部謙二)

1月30日(土) 『しらこぼと』袋づめの会

ボランティア: 14人

赤塚義正、荒木恒夫、岩波勇一、海老原教子、海老原美夫、遠藤薫、佐久間博文、桜庭勇、墨江光子、立岩恒久、馬場昇、藤野富代、松井昭吾、渡辺喜八郎

1月31日(日) 長瀬町 長瀬

参加: 55人 天気: 快晴

カイツブリ コサギ オシドリ マガモ カルガモ コガモ オナガガモ イカルチドリ イソシギ キジバト ヤマセミ アオゲラ アカゲラ コゲラ キセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス エナガ ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ ベニマシコ シメ スズメ ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス (36種) 快晴のもと、真冬なのに風

もなく暖かい。アオゲラ、アカゲラが同時に見られた。オシドリもカラフルな姿で、よく見られた。このコースは変化があって楽しいと言う参加者の声に、リーダーは胸をなでおろした。このコースは、探鳥会としては足元に不安があり、要注意と言う人も過去にあったので、下見には気を遣った。(林 滋)

2月6日(土) 大宮市 市民の森

参加: 35人 天気: 晴

カイツブリ カワウ コサギ カルガモ コガモ オナガガモ ハシビロガモ ホシハジロ バン イカルチドリ タシギ キジバト コゲラ ヒバリ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ シロハラ ツグミ ヒガラ シジュウカラ ホオジロ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (32種) 初めての探鳥会を祝ってくれているような上天気で、2月には珍しい位の暖かさでした。土曜日にもかかわらず、大勢の方が参加され、のんびりと探鳥することができました。お目当てのタヒバリも出たし、この地では珍しいヒガラも現われてくれました。また芝川では、カモを始め、バンがあちこちに現われて皆を喜ばせてくれました。初めての探鳥会として、成功したのではないかと自賛しております。(馬場 昇)

2月11日(木) 深谷市 仙元山公園

参加: 41人 天気: 曇

カワウ コサギ チョウゲンボウ キジバト アオゲラ コゲラ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ビンズイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ トラツグミ ツグミ ウグイス ヒガラ ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ マヒワ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス (29種) 瀧宮神社に着くと、早速マヒワとシジュウカラがお出迎え。セキレイ三役の揃い踏み。コゲラは数メートルの近さでパフォーマンスを披露してくれた。コースの途中、チョウゲンボウが大接近! 仙元山公園では、突如出現したバードウォッチ

ャーの集団にアオゲラがびっくりしたのか、硬直状態。近距離から十分観察できた。参加者は、地元の人が多く、近所にこんな鳥がいたなんて、といたく感激して下さった。残念ながら、キクイタダキには会えなかったが、カモ類抜きで29種とまずまず。(菱沼一充)

2月11日(木) 上尾市 丸山公園

参加: 38人 天気: 曇

カイツブリ カワウ コサギ コジュケイ キジバト カワセミ コゲラ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ アカハラ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (28種) 曇空で寒かったのか! 越冬中のタマシギが見られなかったのが物足りない感じ。その代わりに、シジュウカラ・メジロ等かわいい小鳥たちと、人気者のカワセミをじっくり観察でき、参加者全員満足してくれたと思います。(乗田 実)

2月14日(日) 熊谷市 大麻生

参加: 37人 天気: 快晴

キジバト コゲラ ヒバリ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ヒガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ ミヤマホオジロ アオジ クロジ カワラヒワ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (22種) 次第に風が強くなり、出発する頃には強風で目も開けられない。コハクチョウを見る予定だったが、風をさけて野鳥の森にコースを変更。野鳥の森に着くと、水たまりに鳥の影。双眼鏡で見るとクロジだった。望遠鏡で十分観察したあと、出発しようとするとな後はミヤマホオジロが出現。もう少しと思っていると、残念ながら自動車が。ここではいつも、いいところで自動車が邪魔されてしまう。赤い鳥とはいかなかったが、黒い鳥(カラスじゃない)が見られ、満足満足。「2月の大麻生には意外な出会いが待っている」と来年のキャッチフレーズもこれでいこう。(菱沼一充)

連 糸各 巾長

バードウィークの野鳥画展

■タイトル 感性のバードウォッチング・野鳥画展

■期間 5月8日(土)～16日(日)
(8日は正午ごろから、16日は午後5時ごろまで)

■会場 熊谷駅ビル A Z熊谷4階 カプセルプラザ(エスカレーターの前)

■油絵・水彩画・俳画・イラスト……、いきいきとした野鳥の姿を通して、自然の大切さを訴えます。販売できる作品もあります。どうぞご来場ください。

■出品のお願い 書きためた作品をお貸しください。8日(土)午前10時から11時ごろまで搬入展示作業をしますので、この間に直接会場までご持参いただくか、前日までに支部事務局にお送りください。

■お手伝いのお願い 展示作業は前記のとおり。撤去作業は16日(日)午後5時から。会場でバードウォッチンググッズの販売や来場者に説明をしたりするボランティアも、土・日曜日を中心に必要です。展示・撤去作業をお手伝いくださる方は直接会場まで、会場ボランティアは、事前に事務局までご連絡ください。

幹事の立候補受付

支部活動の推進役である幹事の立候補を受付ます。役員会からの推薦者とともに、6月に予定されている総会で審議し、次年度の役員を決定します。積極的な参加をお待ちします。

今年度の埼玉県鳥獣保護員

今月号の特集記事の執筆者、福井恒人幹事を今年度も埼玉県鳥獣保護員として推薦し、引き続き活躍願うことになりました。

5月の土曜日当番(2時～6時)

- 1日 事務局休み
- 8日 内藤義雄 嶋田和江
- 15日 山部直喜 海老原美夫(編集会議)
- 22日 長谷部謙二 桜庭 勇(校正)
- 29日 袋づめの会(1時から)

会員数は

- 4月1日現在 2,175人。本当です。
- 内訳は、個人特別会員 52人
- 正会員 1,360人
- 普通会員 213人
- 家族会員 536人
- ジュニア会員 14人

活動報告

- 3月6～7日 役員リーダー懇親研修会(茨城県にて)。
- 3月13日 研究部会議と編集部会議(増刊号校正と4月号編集作業)。
- 3月20日 4月号校正作業。
- 3月21日 役員会議(司会・長谷部謙二、平成5年度鳥獣保護員推薦・関東ブロック会議・総会準備・その他)。
- 3月22日 NHKの雑誌『H₂O』の取材。

編集後記

日本初記録のウタツグミ。実はクロツグミでした(今月号4ページ)。遺伝子解析技術は、日々進歩しています。今後、鳥の研究のうえでも、強力な武器になっていくことでしょう。特に分類、識別といった分野では、これまでの“常識”をくつがえすような新事実が次々と明らかにされるかもしれません。若い人たちの中から、遺伝子のコトバで野鳥を語れるような研究者が多数育ってくれることを願っています。(小林みどり)

『しらこばと』1993年5月号(第109号) 定価 100円(会員の購読料は会費に含まれます)
 発行人 松井昭吾 編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部 TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460
 〒336 浦和市岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号 郵便振替 東京9-121130
 印刷 関東図書株式会社 (本誌掲載記事の無断転載はかたくお断りします)

再生紙使用